

奈良県京奈和自動車道連絡調整会議資料

令和7年11月20日

国土交通省 近畿地方整備局

奈良国道事務所

西日本高速道路株式会社 関西支社

奈良工事事務所

奈良県京奈和自動車道の概要

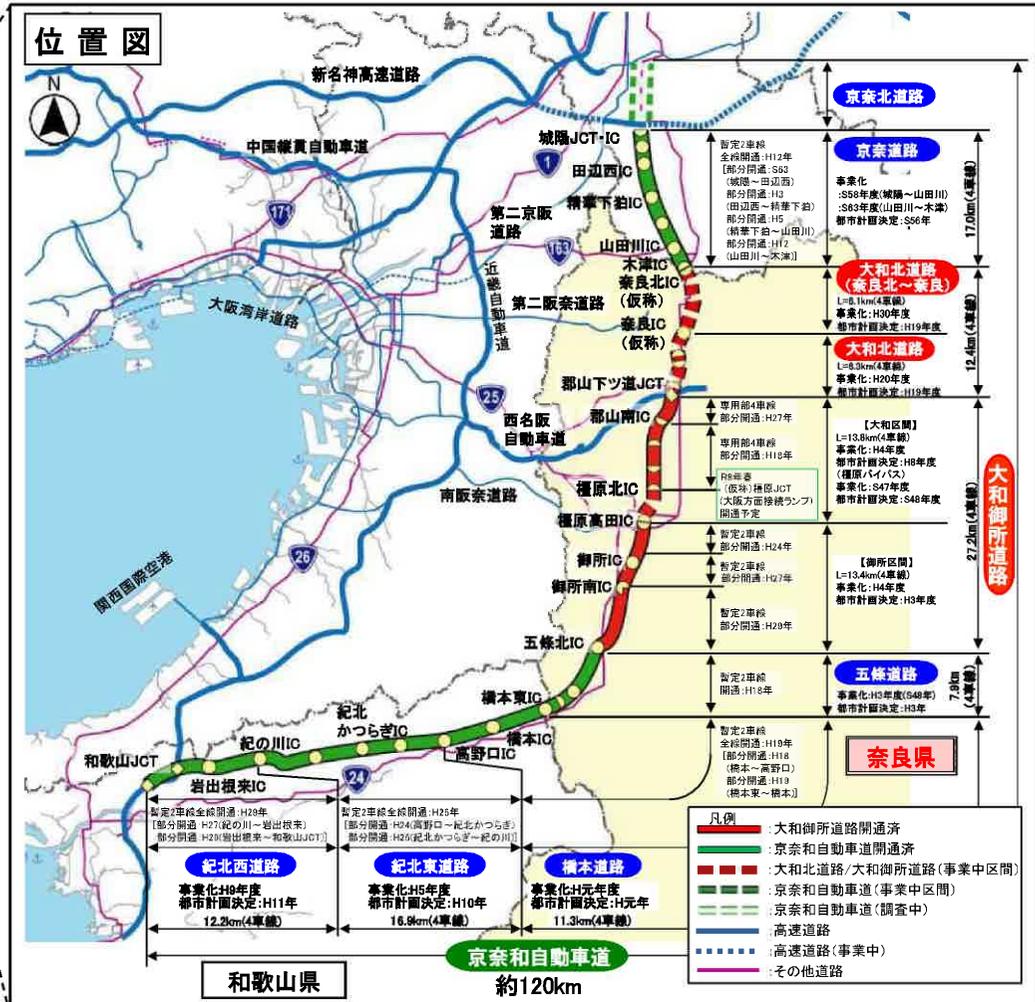
○京奈和自動車道について、大和北道路においては、奈良北IC～奈良IC間で改良工事、調査設計を、奈良IC～郡山下ツ道JCT間で改良工事、橋梁上下部工事を推進。また、大和御所道路については、改良工事、橋梁上下部工事等に着手しており、(仮称)榎原JCT(大阪方面接続ランプ)の令和8年春開通に向けて事業を推進中。

広域図



	全体	京都府域	奈良県域	和歌山県域
全体延長	約120km	約32km	約48km	約40km
うち開通済	88km(73%)	17km(53%)	31km(65%)	40km(100%)

位置図



- 凡例
- 大和御所道路開通済
 - 京奈和自動車道開通済
 - 大和北道路/大和御所道路(事業中区分)
 - 京奈和自動車道(事業中区分)
 - 京奈和自動車道(調査中)
 - 高速道路
 - 高速道路(事業中)
 - その他道路

奈良県京奈和自動車道 事業進捗状況と課題(事業費見直し)

京奈和自動車道 大和北道路(奈良北～奈良)
大和北道路
大和御所道路

○事業進捗が進んでいる大和北道路及び大和御所道路において、それぞれ事業費が+540億円、+336億円となる見込み。



進捗状況 (専用部)	詳細設計未了 (地下部設計未着手) (用地進捗率約1%※1) (事業進捗率約2%※2)	詳細設計一部未了 (用地進捗率約99%※1) (事業進捗率約73%※2)	開通済	詳細設計済 (用地進捗率100%※1) (事業進捗率約83%※2) (仮称)橿原JCT大阪方面接続ランプ R8春開通予定	開通済
	今回	■物価上昇に伴う資機材及び労務費の増 ■地質調査結果等による設計の見直し等	-	■物価上昇に伴う資機材及び労務費の増	-
主な課題	今後	■シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン、および有識者の技術的助言を踏まえたトンネル構造の決定	-	■大規模な開削トンネルの工事を実施予定であり、公共交通等へ影響が最小限となるよう施工調整が必要	-

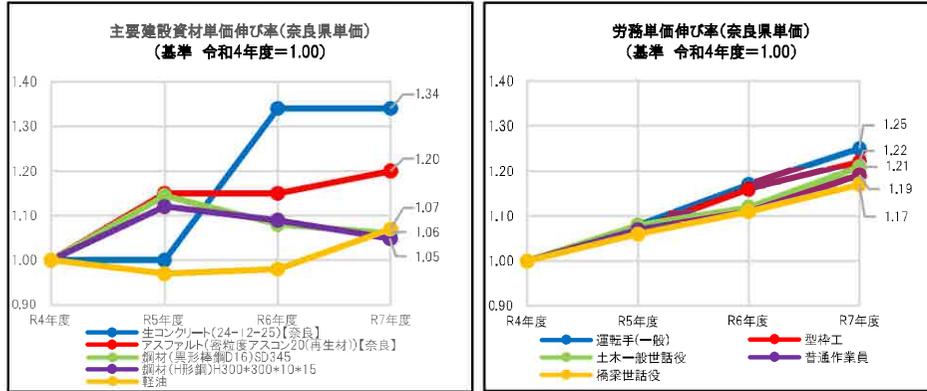
□: 今回増額範囲 ※1: 用地進捗率はR7.9時点のもの ※2: 事業進捗率はR7.3時点のもの

事業費精査の結果

- 事業費精査の結果、+876億円（大和北道路+540億円、大和御所道路+336億円）の事業費増が必要。
- 今後、近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る予定。

①物価上昇に伴う資機材及び労務費の増 +510億円

➢ 前回評価(R4)後の資機材費及び労務費単価の上昇によって、増額の必要が生じた



②埋蔵文化財調査の追加による増 +57億円

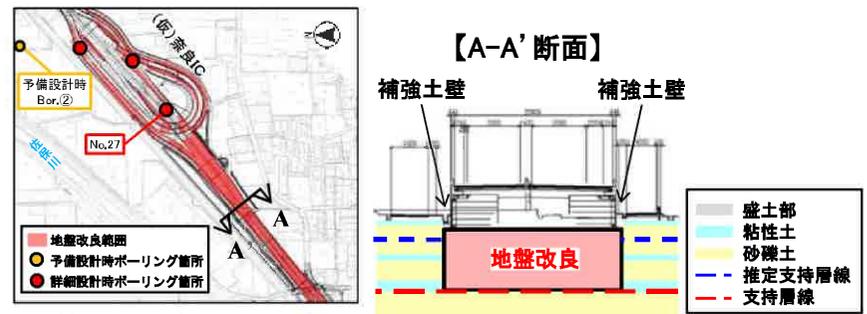
- 事業化時点の埋蔵文化財調査面積は、「奈良県遺跡地図」の埋蔵文化財包蔵地の範囲を調査対象範囲としていた
- 確認調査を行った結果、平城京に関連する重要な遺構が確認される等、発掘調査が必要な範囲が拡大



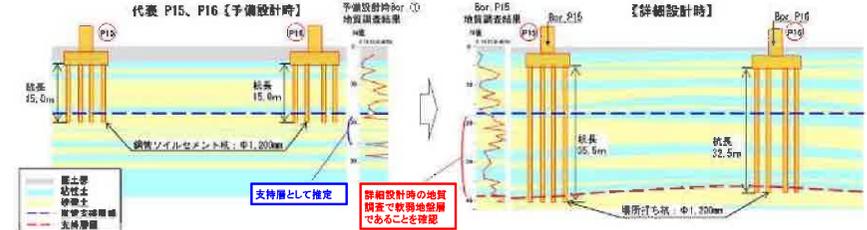
③地質条件変更による増 +324億円

- 予備設計時は近傍の地質調査結果より支持層の推定や地盤改良の要否を確認
- 詳細設計に伴い各構造物位置での地質調査により、支持層を見直した結果、杭長の延長や地盤改良を追加

■ 軟弱地盤対策の追加

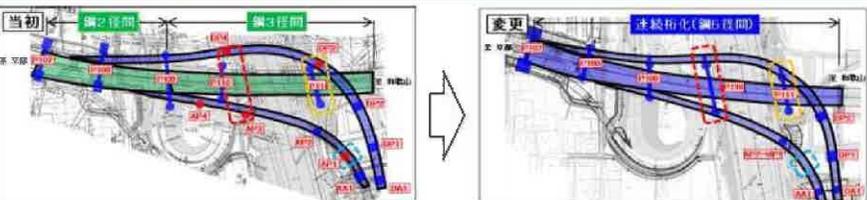


■ 杭長の見直し



④コスト縮減 -15億円

- 橋梁計画位置の見直しなどによるコスト縮減



●事業進捗上の課題(大和北道路)

- 一部区間において、沿道条件を踏まえた橋梁架設時の施工計画の精査が必要

目次

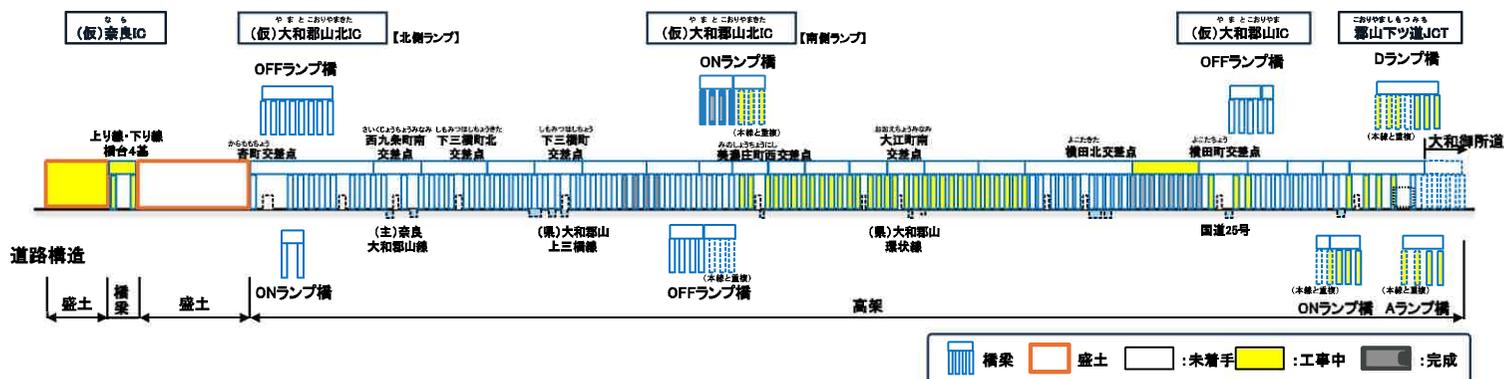
- I. 事業進捗状況
- II. 事業費の見直し

I . 事業進捗状況

奈良県京奈和自動車道 事業進捗状況(大和北道路)

京奈和自動車道 大和北道路

令和7年10月末時点



橋梁工進捗状況(本線部)
(R7.10末現在)

上部工	
完成	0橋
施工中	3橋
未着手	21橋
合計	24橋

下部工	
完成	12脚
施工中	42脚
未着手	58脚
合計	112脚



いわいがわ
岩井川から北を望む



みのしょうようし
美濃庄町西交差点から南を望む



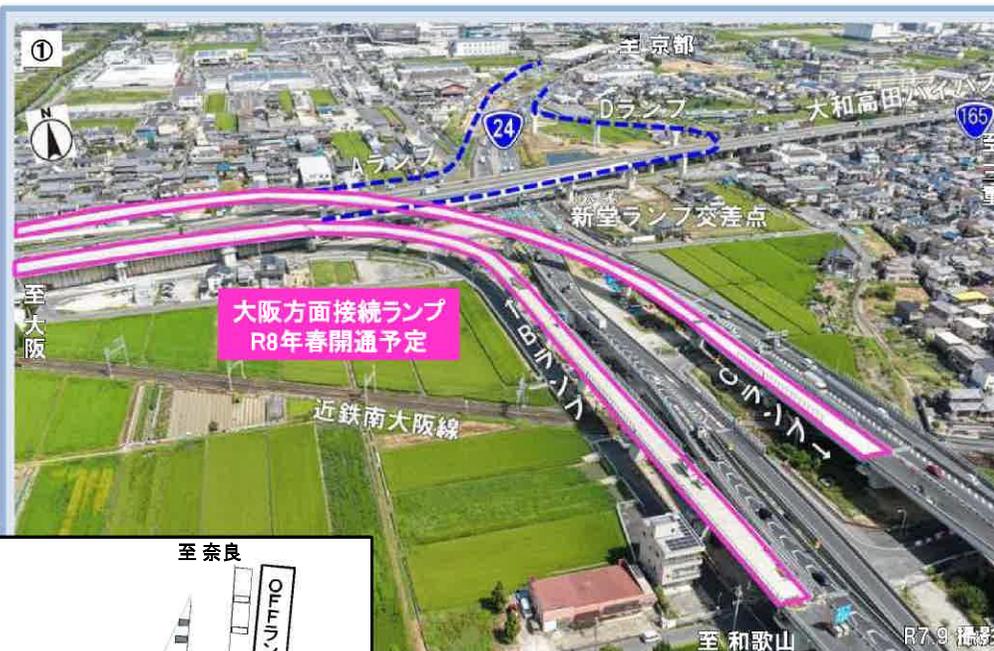
みのしょうようし
美濃庄町西交差点から北を望む



よこたろう
横田町交差点から北を望む

やまと ご せ か し は ら
 奈良県京奈和自動車道 事業進捗状況(大和御所道路(仮称)橿原JCT)

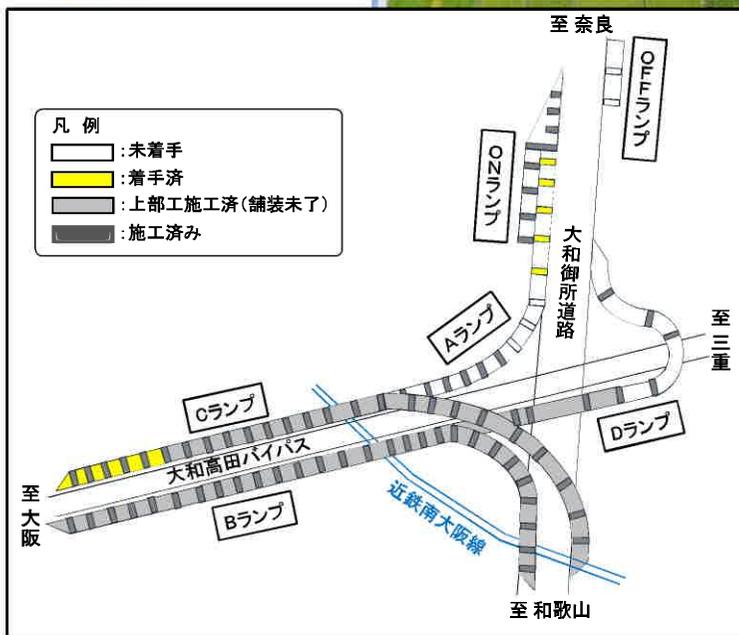
京奈和自動車道 大和御所道路
 令和7年10月末時点



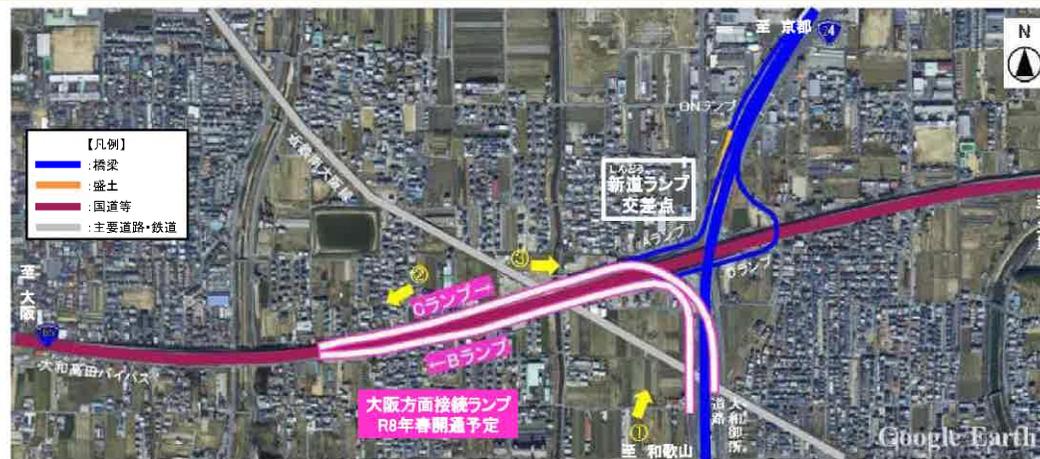
Cランプ(和歌山行き)上から西を望む



Cランプ(和歌山行き)から東を望む



橿原高田ICから北を望む



Ⅱ. 事業費の見直し

■全体事業費の見直し

○物価上昇による資機材費及び労務費の増額、埋蔵文化財調査の追加、地質条件の変更により、約891億円の増額が生じたため、約15億円のコスト縮減を図ったものの、事業費全体で約876億円の増額を予定しており、今後、近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る予定。

○全体事業費

大和北道路 : 890億円 ⇒ 1,430億円(+540億円(約61%増))

大和御所道路 : 5,800億円 ⇒ 6,136億円(+336億円(約6%増))

※大和北道路(奈良北～奈良)は、詳細設計未了のため、現時点での事業費の見直しなし。

■事業費の増額要因

○物価上昇による資機材費及び労務費の増

○埋蔵文化財調査の追加による増

○地質条件の変更による増

■コスト縮減の取組

○橋梁計画位置の見直しによるコスト縮減

○橋梁基礎の仮設部材の見直しによるコスト縮減

○架設工法の見直しによるコスト縮減

(億円)

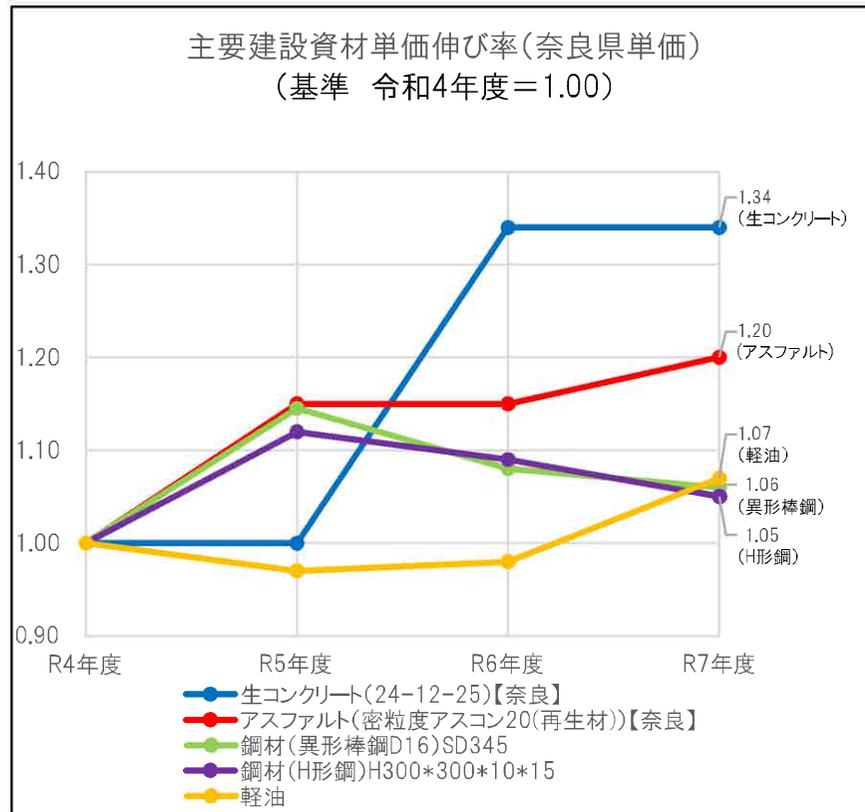
主な増加理由		大和北道路	大和御所道路	合計	備考
物価上昇による資機材費及び労務費の増		174.2	336.2	510	
埋蔵文化財調査の追加による増		56.8		57	
地質条件の変更による増		322.0	2.0	324	
【コスト縮減案】	橋梁計画位置の見直しによるコスト縮減	▲12.9		▲12.9	
	橋梁基礎の仮設部材の見直しによるコスト縮減	▲0.1		▲0.1	
	架設工法の見直しによるコスト縮減		▲2.0	▲2.0	
合計		540.0	336.2	876	

※876億円は現在価値化する前の金額である。

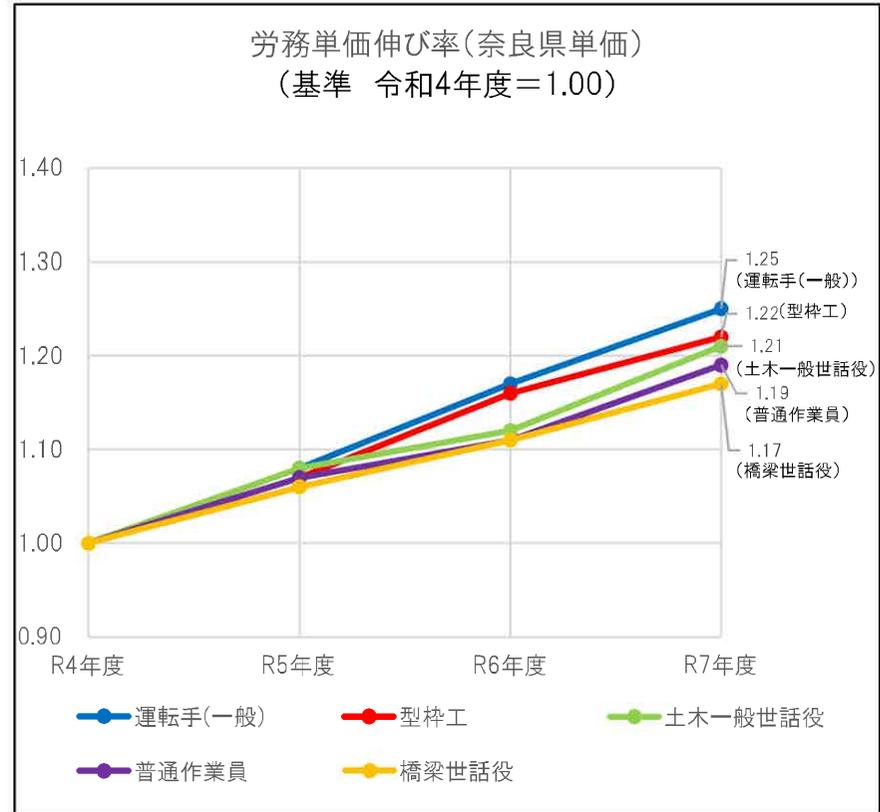
物価上昇による資機材費及び労務費の増(+510億円)

■ 前回評価(R4)後の資機材費及び労務費単価の上昇によって、増額の必要が生じた。

主要建設資材単価の伸び率



労務単価の伸び率



埋蔵文化財調査の追加による増(+57億円)

- 事業化時点の埋蔵文化財調査面積は、「奈良県遺跡地図」の埋蔵文化財包蔵地の範囲を調査対象範囲としていた。
- 発掘調査に先立ち確認調査を行った結果、平城京に関連する重要な遺構が確認される等、発掘調査が必要な範囲が拡大する必要が生じた。

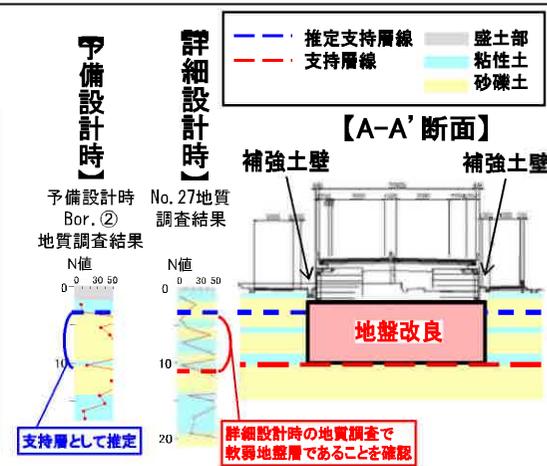


地質条件の変更による増(+324億円)

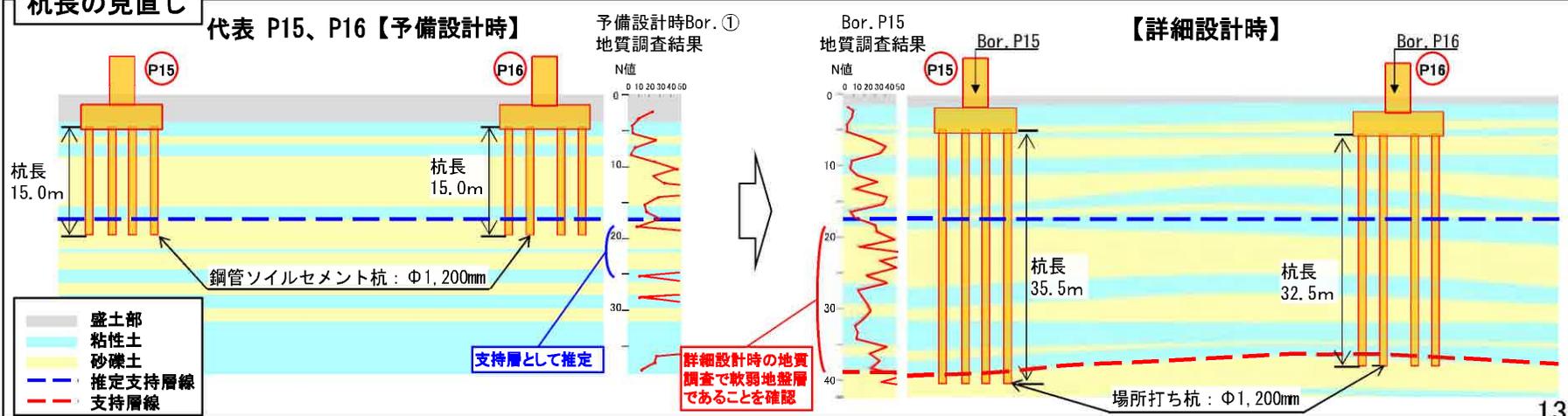
- 予備設計時は近傍の地質調査結果より支持層を推定し、地盤改良の要否や橋梁の杭長を計画していた。
- 詳細設計に伴い各構造物位置等での地質調査により、支持地盤以深の地質等から支持層を見直したことにより、地盤改良の追加や橋梁の杭長に変更が生じた。



軟弱地盤対策の追加



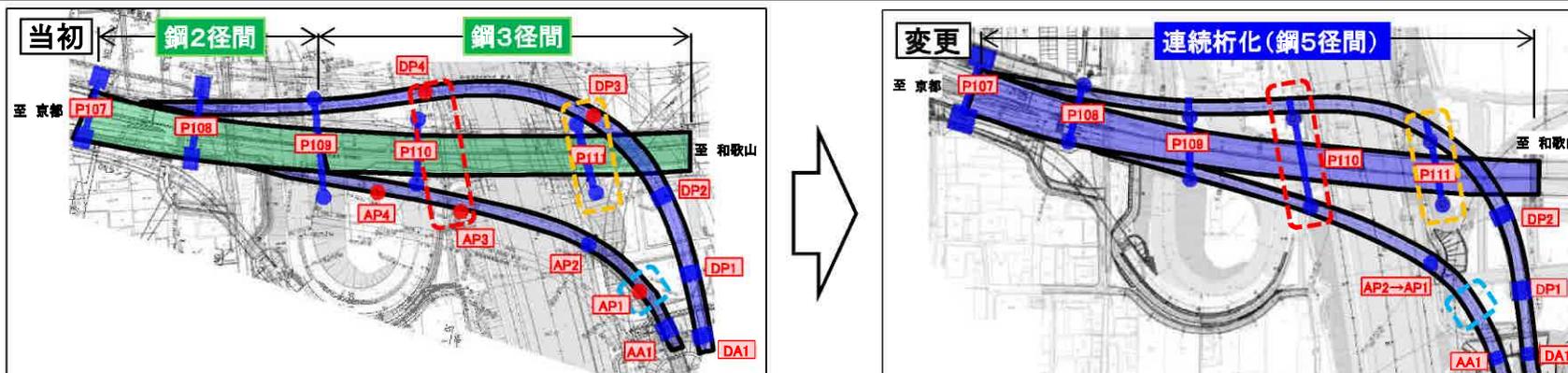
杭長の見直し



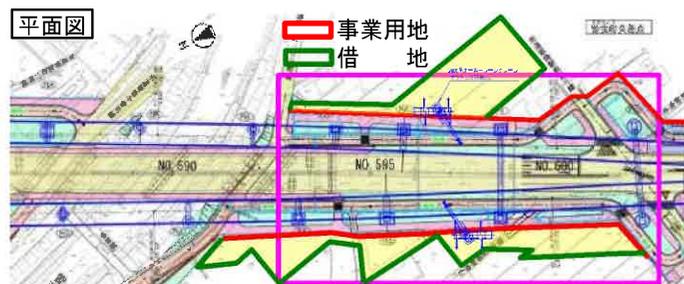
コスト削減の取り組み【▲15億円】

- 近接する専用部・ランプ部の橋梁下部工の一体構造化による橋脚の削減、上部構造の連続桁化による全体構造の一体化に伴う部材の軽量化等による縮減、橋梁上部工の架設工法の見直し(送り出し架設工法→クレーン架設工法)による削減、仮設資材の一部に高強度部材を使用し鋼材量を削減することでコスト削減を実施。
- 引き続き、今後の技術の進展による新技術・新工法の採用等のコスト削減に努めながら事業を推進します。

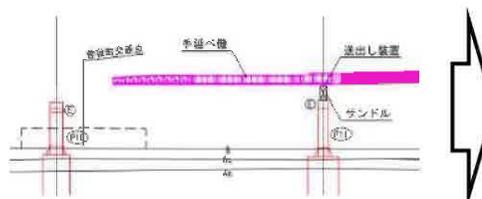
■橋梁計画位置の見直しによるコスト削減【▲12.9億円】 橋梁下部構造の集約・橋梁上部構造の連続化など構造を合理化



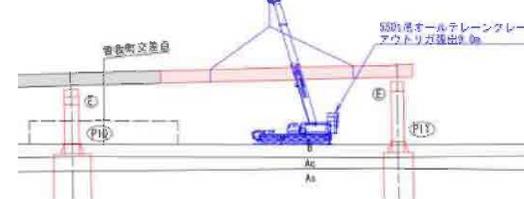
■架設工法の見直しによるコスト削減【▲2.0億円】 借地によって施工ヤードを確保し、トラッククレーン架設工法に変更



当初計画: 送り出し架設
施工ヤードの制約→特殊な準備工・専用設備が必要



変更計画: トラッククレーン架設



■その他: 橋梁基礎の仮設部材の見直しによるコスト削減【▲0.1億円】